

関西

起工式・兵庫県/総合衛生学院建替事業/復興の地に新たな学び舎

[2023-02-08 9面]



【設計＝内藤建築事務所／施工＝大豊建設・神鋼興産建設・益田工務店JV】

兵庫県が神戸市で建設を計画している「新長田キャンパスプラザ（仮称）（兵庫県立総合衛生学院建替事業）」の安全祈願祭が、7日に現地で開かれた。齋藤元彦兵庫県知事ら関係者が参加し、無事故・無災害での完成を祈願した。設計は内藤建築事務所、施工は大豊建設・神鋼興産建設・益田工務店JVが担当する。工期は2024年6月まで。同年9月の供用開始を予定している。

神事では、齋藤知事が鋤（すき）入れ、森下覚恵大豊建設社長が鍬（くわ）入れし、関係者が玉串をささげた。

起工式で齋藤知事は「今回の事業によって、1995年の阪神・淡路大震災の復興再開事業が全て完了する。兵庫県は今後もにぎわいづくりに務めていく」とあいさつした。

来賓として出席した久元喜造神戸市長は「震災から28年の歳月を経て人口は増加したが、新長田のにぎわいは戻ってきていない。神戸市では今後もバスロータリー整備などに取り組んでいく」と述べた。

最後に森下社長は「再開発の最後をお手伝いさせていただくということで、身の引き締まる思い。施工者一同、持てる技術を全て使い、全力で工事にあたりたい」と意気込みを語った。

事業では、現施設（長田区海運町7）を新長田駅南地区「腕塚5第3工区」（神戸市長田区腕塚町5）の敷地2384㎡に移転建て替える。

新施設の規模はS造9階建て延べ1万2000㎡。1階から4階まで総合衛生学院が入居し、本校の学科と分校の介護福祉学科を集約する。5階には兵庫県立大学が入り、神戸市西部における起業支援・リカレント学習拠点として活用する。6階から8階までは兵庫教育大学が入居。8階は大講堂兼体育館を配置する。

* *



井口哲也現場代理人（大豊建設）の話「近隣への影響や危険作業に十分注意し、無事故・無災害で完成させたい」

齋藤知事



森下社長

